

11 ミュージアムに関する事項

龍谷ミュージアムは、仏教文化を中心とした文化財や学術資料等を「収集・整理・保存」「調査・研究」「展示・公開」することを基本に、本学における教育・研究・社会貢献機関として活動を展開し、その成果を広く社会に発信することを目的とし、2011年4月、西本願寺正面に開館した。

ミュージアム研究プロジェクトを中心としたミュージアムにおける研究の成果を、常設展・特別展・企画展や、さまざまな活動を通して学内外に公開し、教育・研究・社会貢献に寄与することをめざす。

開館2年目となる2012年度は、特に教育面において、教学部や各学部と連携し、本学必修科目である「仏教の思想」をはじめとする各授業において、ミュージアムを積極的に活用することを計画している。

1 教育活動について

●必修科目「仏教の思想」での活用

全学部の必修科目である「仏教の思想A」および「仏教の思想B」の受講生全員を対象とし、ミュージアム教員(学芸員)が、展示資料を教材とした授業を実施し、講義内容の理解促進を図る。

●博物館学芸員課程での活用

ミュージアムの講義室や展示室、バックヤード(収蔵庫、展示前室等)などの施設を利用して、本学の博物館学芸員課程の授業をおこなうとともに博物館実習(館園実習)の学生を受け入れる。ミュージアム教員(学芸員)の指導のもとで、現場での実習や展示作業補助等を経験することにより、実学的素養の修得を図る。

●各学部専攻科目や教養教育科目等における活用

各科目や演習等において、ミュージアムの講義室や展示室、視聴覚室、デジタル機器等を活用した授業を実施する。また、実物資料を通して「仏教」を体感しつつ学習することで、本学における建学の精神の涵養を図る。

●教育普及活動の推進

ミュージアムにおける教育研究の成果を広く社会へ還元することを目的に、学外に向けて教育普及活動を継続的に実施する。2011年度も好評を博した来館者に対する展示解説講義やRECコミュニティカレッジ、学外の文化事業と連携した講座等をおこなう。

2 研究・調査活動について

●研究プロジェクトの活動促進

2010年度から3ヶ年の計画で展開している研究プロジェクトの活動を促進する。特にその研究成果を、常設展・特別展・企画展を中心としたミュージアムにおける諸事業を通して公開し、学内の教育・研究活動に活かすとともに、広く社会へ還元する。

●所蔵資料・借用資料の調査・研究活動

ミュージアムにて所蔵している資料や寄託資料、他館や

全国の寺院等から借用してきた資料や法宝物等の調査・研究をおこなう。また本学大宮図書館収蔵品や本願寺法宝物の調査・研究も継続的にこなう。

●研究成果の公開

研究プロジェクトやミュージアム教員・兼任研究員の研究成果を、常設展・特別展・企画展として公開し、図録や図書などの刊行をおこなう。また講座・講演会等を通して広く学内外へ向けて発信していく。さらにはミュージアムホームページでの公開も検討する。

●学会・シンポジウムの開催、協力

ミュージアムが主催もしくは共催する、学会・シンポジウム・研究会などで、ミュージアム教員や兼任研究員が研究成果を発表する。また、本学が主催する諸分野の学会に協力し、ミュージアムを公開する。

●新たな研究プロジェクトの設置に向けた検討

ミュージアムにおいて、仏教を中心とするさまざまなテーマをもとに、龍谷ミュージアム研究プロジェクト細則に則り、2013年度からの新たな研究プロジェクトの設置に向けた検討を開始する。

3 常設展・特別展・企画展について

●常設展の開催および充実

ミュージアムの基本コンセプトである仏教の誕生からアジアへの広がり、日本での展開をわかりやすく紹介する常設展を開催する。この常設展を通して、仏教に関する情報を本学学生・教職員はもとより広く社会に向けて発信する。

●魅力ある特別展の開催

魅力あるテーマの特別展を開催し、仏教に関する理解の促進をめざす。春季特別展「仏教の来た道―シルクロード探検の旅」では、本学所蔵の大谷探検隊収集品を中心に、関係する国内の所蔵品を借用して、シルクロードの文化に焦点を当てた魅力的な展覧会を開催する。秋季特別展「絵解き―仏教絵画のエンターテインメント」(仮題)では、仏教絵画がかつて絵解きとして使用され、信仰の普及に貢献した様相を展示する。

●意義深い企画展の開催

企画展①「良如宗主と龍谷大学の歩み」では、本学の前身となる学寮を創設された、西本願寺第13世・良如宗主の事績と本学の歴史を紹介する。会期中には新入生オリエンテーションの一環として、全1年次生を受け入れるとともに、多くの学生や教職員の来館に力を入れる。企画展②「若狭・多田寺の名宝―秘仏本尊・薬師三尊像初公開」(仮題)では、地方の古寺の仏教文化に焦点を当てた展覧会をおこなう。

4 地域での諸活動について

●地域活性化への取り組み

西本願寺や門前町の活性化に取り組む地域団体、下京区役所等と協働し、門前町を中心とした地域活性化事業に継

続的に取り組む。さらに、京都駅周辺の商業施設や京都水族館、風俗博物館等との連携を密にし、エリアの拡大をめざす。

● 隣接地区との交流事業

ミュージアムが立地している植柳学区の自治連合会や隣接する町内会との交流を通して、ミュージアムおよび本学の認知度や友好関係の向上を図る。また、ミュージアムにおいてコンサートや近隣の歴史や文化を紹介するパネル展等を共同で開催する予定である。

